



**第84回全日本ウエイトリフティング選手権大会
第38回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会**

令和7年4月24日(木)から27日(日)までの間、福井県産業会館(福井市)において「全日本ウエイトリフティング選手権大会」が開催された。ウエイトリフティング班からは12名の選手が参加し、4名が優勝の成果を収めた。

大会1日目の男子61kg級に出場した平井海斗(ひらいかいと)2等陸曹は、スナッチ競技で1、2試技を失敗し、後がない状態で臨んだ3試技で118kgを成功させた。クリーン&ジャーク(以下「C&J競技」)ではライバルたちが挙げられなかった150kgを1試技目から堂々と挙げ、2試技では154kg、3試技では【大会新記録】の157kgを成功させ、スナッチ競技1位の新規入校生佐野香太郎(さのきょうたろう)2等陸曹との同門対決を制し優勝した。試合後平井2曹は、「今大会は昨年の怪我と手術を乗り越えての復帰戦であり世界選手権出場の権利獲得を目標に挑んだ。スナッチ競技では後がない状態で窮地に追い込まれたが、目に見えない力が助けてくれた。体調やコンディショニングに合わせた記録の設定が課題なので今後はいつも支えてくれるコーチと意見交換していきたい。」と語った。



**スナッチ : 118kg
C&J : 157kg
トータル : 275kg**

**男子61kg級
2等陸曹 平井海斗**

大会新記録



**男子67kg級
大会2等陸曹 木村勇喜**

大会新記録

**スナッチ : 136kg
C&J : 162kg
トータル : 298kg**

大会2日目の男子67kgに昨年度優勝の木村勇喜(きむらゆうき)2等陸曹が出場し、スナッチ競技では【大会新記録】である136kgを成功させて首位に立った。C&J競技でも圧倒的な強さで首位を守り、トータルにおいても298kgの【大会新記録】を樹立させ、2位と27kg差をつけ王者の風格を見せた。試合後木村2曹は、「今回は世界選手権最終選考もかかった大会でもあったので、新階級の65kgに合わせて8kgの減量をして挑んだ。一発勝負の中で基準を超えられてよかった。シニアでは初めての国際大会になるので、来年のアジア大会と2028年ロサンゼルスオリンピックを視野にこれからも練習に励みたい。」と今後の意気込みを語った。



大会3日目の男子89kg級に原勇輝（はらゆうき）3等陸尉が
出場し、スナッチ競技145kgを成功させて首位に立ち、
C&J競技では177kg、185kgを成功させ2試技を終えた
時点で優勝が確定した。3試技では190kgに挑戦し惜しく
もクリアならずではあったが、トータル330kgでこの階級
では初めての優勝、全日本選手権では3回目のタイトルを獲得
した。試合後原3尉は、「今大会は今後の階級変更を見据えて
89kg階級での出場、周りの選手が89kgある中、自分は
85kgしかなく81kg階級のどちらでも戦えるような体重で
ある。現在のベストがスナッチ155kg、C&J190kgまで
きてるので、今後は練習でスナッチ160kg、C&J200kg
に挑戦できる実力をつけていきたい。さらに体重を3kg増加
し記録を達成したい。」と力強く語った。



男子89kg級
3等陸尉 原 勇輝
スナッチ：145kg
C&J：185kg
トータル：330kg



スナッチ：100kg
C&J：130kg
トータル：230kg
女子+87kg級
2等陸曹 中嶋 友菜

大会4日目の女子+87kg級に中嶋友菜（なかじまゆな）
2等陸曹が出場した。昨年度優勝の中嶋2曹は、スナッチ競技
で93kg、96kg、100kgと危なげなく3試技全てを成功
させて首位に立ち、続くC&J競技においても123kg、
126kg、130kgと3試技全てを成功させ会場を沸かせた。
試合後中嶋2曹は、「2ヶ月前に膝を怪我してしまい1ヶ月間
練習ができなくて、万全の状態に戻っていない中で不安もあつ
たが、目標にしていた6試技成功と優勝することができて良
かった。11月のレディースカップでは階級を落とすつもり
でいるので、体重と記録を狙える調整をしていきたい。」と笑
顔で決意を述べた。中嶋2曹は誰もが認める強さで自身3度
目の優勝を果たした。

入賞者



男子61kg級
3等陸曹 佐野 香太郎
スナッチ：120kg
C&J：145kg
トータル：265kg



女子55kg級
2等陸曹 西浦 実桜
スナッチ：86kg
C&J：104kg
トータル：190kg



男子73kg級
2等陸曹 佐藤 康太郎
スナッチ：140kg
C&J：178kg
トータル：318kg



女子81kg級
2等陸曹 知念 ひめの
スナッチ：91kg
C&J：119kg
トータル：210kg

スナッチ（単一動作）：床から頭上までバーベルを一気に持ち上げ立ち上がる。



クリーン&ジャーク（二段階動作）：まずは「クリーン」でバーベルを一旦肩の高さまで持ち上げ、「ジャーク」で肩の高さから頭の上まで挙上する。



各種目3回ずつ試技を行い、成功した最高重量の合計で順位が決まる。

ウエイトリフティングは重たいバーベルを挙げるだけだと思われがちだが、腕力勝負の豪快なスポーツではなく力の他に柔軟性、瞬発力、精神面が結果に現れる繊細なスポーツである。魅力のひとつとして、2種目を3回ずつ試技を行うに先立ち、各選手は自分が挙げる予定の重さを申告し、申告した重量が軽い順に試技を行うため、周りの選手にプレッシャーをかけることができるがその一方で、重い重量を申告しても3回試技を失敗すると0点になるリスクがあるため、どの重さで申告するかは当日の駆け引きとなり監督の腕の見せ所でもある。

